

2. 犯罪被害による精神的被害からの回復過程

10) 外傷が解消されたことを確認するための指標

Herman (1992)

PTSDの生理学的症状を自己管理できる
外傷性記憶と深く関連した感情に耐えられる
想起したくない記憶を想起しないでおける。
外傷性記憶が首尾一貫した、感情を伴った
ものになっている

否定的な自己評価が回復している
重要な対人関係が再建されている
意味と信念の首尾一貫した体系が再建されている

2. 犯罪被害による精神的被害からの回復過程

10) 外傷が解消されたことを確認するための指標(続き)

MADD『飲酒運転に反対する母親の会』

被害を受けたという事実を事実として認められる
これまでと同様、今後も痛みを経験し続けることを

いとわない

現在と未来に集中することになっている

よい思い出とともに生きてゆくことを学んでいる

悲嘆の発作に襲われてもさほど圧倒されない

変容した自分の価値観・人生観に適応しつつある

自分の絶望感を克服することにもなる被害者支援を

行いたい

1) 内閣府：途切れない支援を行うための基盤整備 および支援活動に携わる人材の育成

犯罪被害者支援ハンドブック・モデル案作成、
啓発用DVD作成、民間被害者支援団体
における研修カリキュラム・モデル案作成
コーディネータの育成

2) 本発表者のコーディネータとしての 支援活動: 遺族支援を通じて

- ・ 異業種の紹介、打ち合わせ等に同席
- ・ 法廷付き添い・傍聴
- ・ 地裁への意見書作成(「視聴」の実現)
- ・ 記者会見の原稿作成(要望の取りまとめ)
- ・ 問題解決型のカウンセリング(1-2回のみ)
- ・ 文科省との交渉、交渉前後の打合せに参加
- ・ 遺族・弁護士の不満を聴いて吸収
- ・ コロンバイン高校銃乱射事件の遺族、被害者
支援関係者に会うために遺族に同行し渡米